

コンパクト太陽光発電システム

ジャストコンパクトTM

お客様用

取扱説明書

◎本書は当システムを構成する以下の機器・アプリケーションについて説明しています。



マイクロインバータ用ゲートウェイ BDJ-256J

系統連系用マイクロインバータ BDM-300-210JD

遠隔監視アプリケーション NEPViewer

※本書の内容は予告なく変更することがあります。

目次

1 注意事項.....	4
1.1 安全上の注意と警告	4
1.2 PLC通信について	8
2 本体の説明	9
2.1 ゲートウェイの各部機能と外形寸法	9
2.2 ゲートウェイの同梱物.....	10
2.3 ゲートウェイでできること.....	10
2.4 ゲートウェイの仕様.....	11
2.5 マイクロインバータの外形寸法および各部機能.....	12
2.6 マイクロインバータの性能仕様.....	13
3 ゲートウェイの操作説明	14
3.1 メイン画面の表示.....	14
3.2 データの保存と消去.....	15
3.3 本日の発電量.....	15
3.4 7日間の発電量	16
3.5 年間の発電量.....	16
3.6 20年間の発電量.....	16
3.7 現在日時の設定.....	17
3.7.1 手動での設定方法	17
3.7.2 インターネットの時刻情報と同期する設定方法.....	17
3.8 画面設定・調整	18
3.8.1 自動消灯時間の設定	18
3.8.2 背景画面の設定	18
3.8.3 ゲートウェイ画面の調整	20
3.8.4 ゲートウェイの情報確認.....	21
3.8.5 ゲートウェイに蓄積された発電量データの保存	21
4 インターネット接続の設定.....	22
4.1 インターネット接続の設定(有線および無線).....	22
4.1.1 有線での接続方法	22
4.1.2 無線Wi-Fiでの接続方法 <WPS で設定可能な場合>	23
4.1.3 無線Wi-Fiでの接続方法 <手動設定する場合>	23

4.1.4 インターネットとの接続状態の確認.....	25
5 宅内での発電量・動作状態確認.....	26
5.1 パソコン(PC)を使用した発電量・動作状態確認(有線の場合).....	26
5.2 パソコン(PC)を使用した発電量・状態確認(無線Wi-Fiの場合).....	27
6 スマートフォン、タブレット等での発電量・動作状態の遠隔監視	28
6.1 ユーザー登録	28
6.2 お客様が所有する太陽光発電システムの情報登録.....	31
6.3 太陽光発電システム管理者専用ページの操作	34
6.4 PC版 遠隔監視アプリケーション『 NEPViewer 』の操作.....	35
6.4.1 ①「発電所全体図」の表示説明	36
6.4.2 ②「発電量」の表示説明	37
6.4.3 ③「天気&地図」の表示説明.....	39
6.4.4 ④「レポート」の設定画面	39
6.4.5 ⑤「アラート」の表示説明.....	40
6.4.6 ⑥「レイアウト」の設定画面.....	40
6.5 スマートフォン、タブレット版遠隔監視アプリケーション 『 NEPViewer 』 のインストール.....	41
6.6 スマートフォン、タブレット版 『 NEPViewer 』 の操作.....	42
7 トラブルシューティング	44
7.1 トラブルシューティング	44
7.2 ステータスコード一覧(参考)	45

1 注意事項

1.1 安全上の注意と警告

取付・操作の前にこの取扱説明書をよくお読みください。本書に従わないことで生じた製品の損傷は保証の対象とはなりません。本書の記載事項を必ずお守りください。

安全に施工いただくために、本書をよくお読みになり記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った取扱いや作業を行ったときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 	この表示は「据付工事業者または使用者が死亡や重傷などに結びつく可能性がある」内容を示しています。
注意 	この表示は「据付工事業者または使用者が傷害を負う、あるいは家屋や財産に損害を受ける可能性がある」内容を示しています。

■ 絵表示には次の意味があります。

	してはいけない 「禁止」内容です。		気を付けるべき 「注意」内容です。		必ず指示に従い実行していただく 「強制」内容です。
---	----------------------	---	----------------------	---	------------------------------

「マイクロインバータ用ゲートウェイ BDJ-256J」について

 警告	
 禁止	交流電源コードは付属のコード以外は使用しない。 感電・火災の原因になります。
	装置を開けて内部に触れたり、充電部に手を触れたりしない。 感電・火災の原因になります。
	当太陽光発電システム以外に使用しない。 機器破損・感電・火災の原因になります。
	ゲートウェイを雨風のあたる場所では使用しない。 ゲートウェイは屋内用です。感電・火災の原因になります。
	火災発生時や雷鳴時に、ゲートウェイに触れない。 機器破損・感電・火災の原因になります。
	濡れた手で本製品を扱わない。 感電・けがの原因になります。
	浴室など湿気が多い場所には据付けない 漏電の恐れがあり、火災・感電の原因になります。
	ゲートウェイを医療機器の近くでは使用しない。 医療機器に影響を与え、誤作動による事故を引き起こす可能性があります。
ゲートウェイを火災報知器などの自動制御機器の近くに設置しない。 自動制御機器に影響を与え、誤作動による事故を引き起こす可能性があります。	

	<p>台所など油煙や蒸気を受ける場所には据付けない。 感電・漏電・火災の原因になります。</p> <p>可燃性ガスなどが漏れるおそれのある場所へ据付けない。 製品周囲にたまると火災の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>分解・改造は絶対に行わない。 落下・感電・火災の原因になります。また、電波法に抵触するおそれがあります。</p>
 強制	<p>電気工事は必ず専門の工事店に依頼する。 誤った工事は、機器破損・感電・火災の原因になります。</p> <p>ゲートウェイの電源は交流100Vで使用する。 誤った電源を使用すると、機器破損・感電・火災の原因になります。</p> <p>心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を使用する場合は、医師の指示にしたがう。 医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあり、事故の原因になります。</p> <p>異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る。 異常のまま運転を続けると、機器破損・感電・火災の原因になります。</p>

 注意	
 禁止	<p>幼児の手の届く場所には取り付けない。 けがの原因になります。</p> <p>液晶画面部分にものを当てない 液晶画面が割れることがあります。万一、液晶画面が割れた場合、液晶画面や漏れた液体には絶対に触らないでください。</p>
 強制	<p>ゲートウェイにスプレー(殺虫剤、整髪用、掃除用、塗装用)などをかけない。 部品の変質・破損の原因になります。</p> <p>お手入れの際は、手袋を着用する。 着用しないと、けがの原因になります。</p> <p>製品同梱の付属品および指定品以外は使用しない、改造しない。 火災・感電・故障の原因になります。</p> <p>液晶画面を強い力でこすったり、押したり、つついたりしない。 機器破損、けがの原因となります。</p>



強制

ゲートウェイの設置は下記のことを守る。
火災・感電・故障の原因になります。

- 屋外または車庫、納屋など屋外に近い環境の場所には設置しないでください。
- 海水が直接触れる可能性のある場所には設置しないでください。
- 水没する恐れのある場所には設置しないでください。
- 直射日光が当たる場所
- 天井裏には設置しないでください
- 周囲温度 -40～55℃、湿度30～95%以内、温度変化で結露しない屋内に設置してください。
- 温度変化の激しい場所
- 標高が2000mを超える場所には設置しないでください。
- 振動または衝撃を受ける場所には設置しないでください。
- 過度の水蒸気、油蒸気、煙、粉塵、腐食性物質、爆発性、可燃性ガス、化学薬品、火気にさらされるおそれのある場所には設置しないでください。

「系統連系用マイクロインバータ BDM-300-210JD 」について



警告



禁止

異常が発生した際、そのまま放置しない。
機器破損・感電・火災の原因になります。

当太陽光発電システム以外に使用しない。
機器破損・感電・火災の原因になります。

火災発生時や雷鳴時に、マイクロインバータに触れない。
機器破損・感電・火災の原因になります。

お客様ご自身で移動再設置をしない。
機器破損・感電・火災・けがの原因になります。

太陽電池モジュールのガラスが割れた場合は使用しない。
感電・火災の原因になります。

濡れた手で本製品を扱わない。
感電・けがの原因になります。

浴室など湿気の多い場所には据付けない
漏電の恐れがあり、火災・感電の原因になります。

	<p>台所など油煙や蒸気を受ける場所には据付けない。 感電・漏電・火災の原因になります。</p> <p>可燃性ガスなどが漏れるおそれのある場所へ据付けない。 製品周囲にたまると火災の原因になります。</p> <p>幼児の手の届く場所には取り付けない。 けがの原因になります。</p>
 分解禁止	<p>分解・改造は絶対に行わない。 落下・感電・火災の原因になります。</p>
 強制	<p>太陽電池モジュールが据付けられている屋根に登る場合は、太陽電池に触れない。 落下・感電・火災の原因になります。</p> <p>移動再設置をする場合は、お買上げの販売店に相談する。 不備があると、感電・火災の原因になります。</p>

 注意	
 禁止	<p>太陽電池モジュールのガラス面に乗らない、物を載せない。 けがの原因になります。</p> <p>マイクロインバータの冷気や蒸気をあてない。 露がつき漏電・焼損の原因になります。</p> <p>積雪時に太陽電池モジュールから落雪のおそれがあるときは下を通らない、下に物を置かない。 太陽電池モジュールを据付けた屋根面の雪は通常の場合より一度に落雪しやすくなり、けが・器物破損の原因になります。</p> <p>太陽電池モジュール・マイクロインバータの清掃には、以下の薬品や油類・洗剤などを使用しない。 シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・洗剤など 変色・変質の原因になります。</p>
 強制	<p>地震・強風・大雪の後は、点検を受ける。(有料) 架台の固定にゆるみや異常があると、落下しけがの原因になります。</p> <p>お手入れの際は、手袋を着用する。 着用しないと、かげの原因になります。</p>

1.2 PLC通信について

NEP製マイクロインバータとゲートウェイ(モニター装置)間のデータ通信は、PLCと呼ばれる電力線搬送通信方式を採用しています。これは通常の電力線にデータ信号を重畳させ、通信を行う技術です。

PLCによる通信は一般家庭等で既に敷設されている電力線を利用するため、新たに専用の通信線を敷設・構築する必要が無いというメリットがありますが、ご使用にあたっては以下の点についてご注意ください。

● PLC通信が以下の電化製品のノイズ源となる可能性があります。

- ・短波ラジオ、タッチランプや調光機能付きの照明器具
- ・無線を利用した遠隔操縦機器・ワイヤレスマウス
- ・その他のPLC機器

これらの機器に対してゲートウェイのPLC通信が影響を与えている場合は、以下の方法を試してください。

- ・電源コンセントを別の電源コンセントに差し替える
- ・短波ラジオの場合は、壁から離れた場所で使用する
- ・短波ラジオの周波数を変更して受信をする
- ・電池が使用可能なラジオであれば、電池で動作させてみる

● PLC通信は既存の屋内電気配線を通じて通信を行いますので、電気ノイズや電力線の長さ、ブレーカの仕様等によって通信に影響を受ける場合があります。また、近隣に強い電波を発する無線設備がある場合には、通信速度の低下や通信できないことがあります。

● ドライヤー、冷蔵庫等の家電製品や、携帯電話の充電器等が発するノイズによって、一時的に通信が不通になることがあります。

他の機器からのノイズを避けるため、以下の点にご留意ください。

- ・電源タップなどを介さず、直接コンセントに差し込むこと
- ・できるだけドライヤーや冷蔵庫などのノイズ発生源から遠いコンセントを使用すること

また、通信状態が良くない場合には、以下の方法をお試しください。

- ・別のコンセントに差し替える
- ・ノイズ発生源と思われる機器を別のコンセントに差し替える
- ・ノイズ発生源と思われる機器にノイズフィルターを使用する

※通信が不通となった場合でも、マイクロインバータ本体の運転や発電量には全く影響ありません。

● ゲートウェイはマイクロインバータ1台ごとに通信を行うため、台数が多いほど全体のデータを取得するのに時間が掛かります。

また、通信失敗時には、次の通信信号取得までの時間が長くなるため、台数が多い場合や通信状態により通信不通エラーが発生する場合があります。

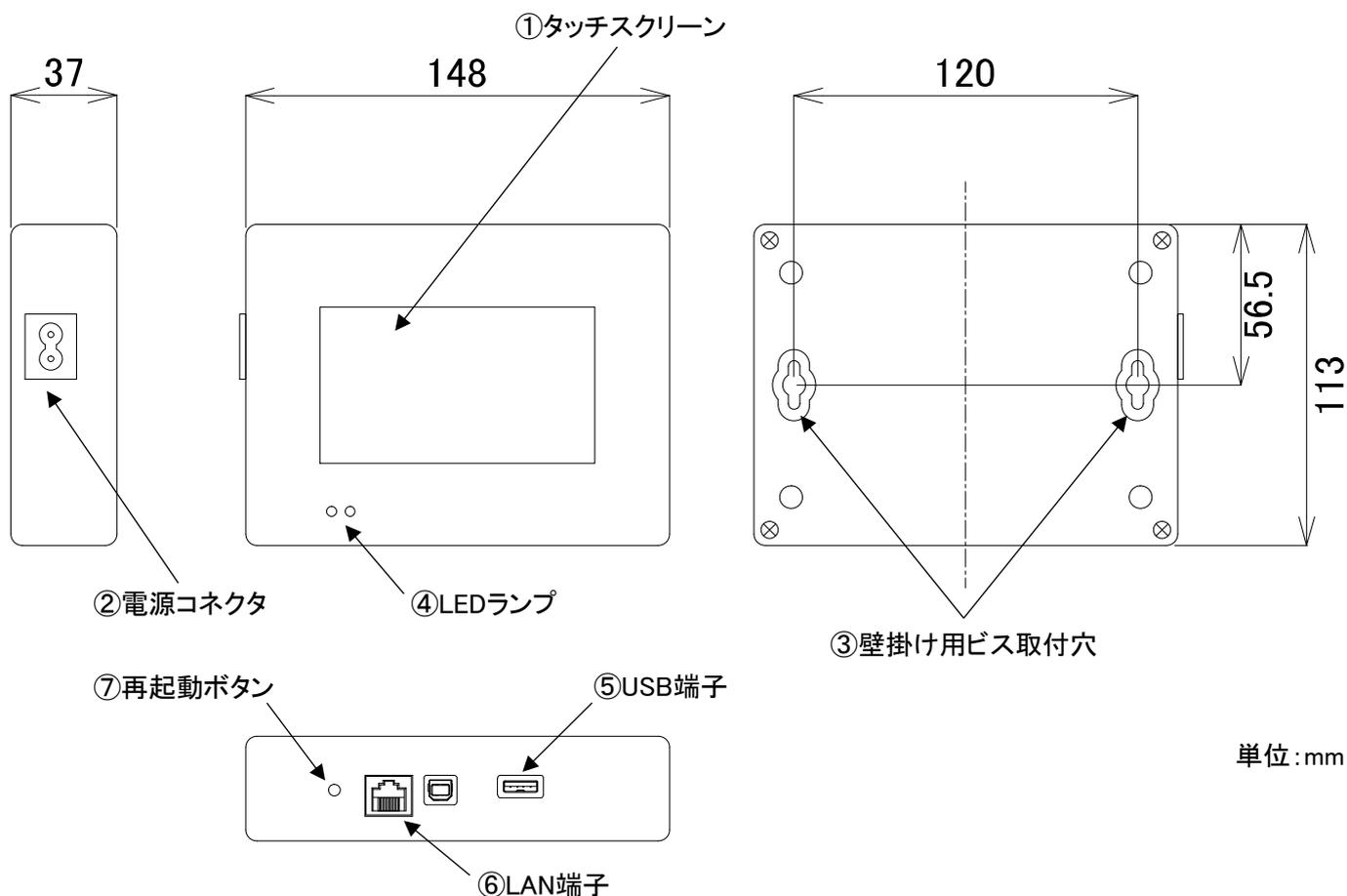
● 通信が失敗した場合には、次の通信成功時に前回取得できなかった発電量データを合算してゲートウェイに表示しますが、これにより一時的に発電量が0に見える場合や、次の通信成功時に一時的に発電量が多く表示する場合があります。

また、ゲートウェイ接続時や再起動時など、データの取得に時間が掛かる場合にはその間の発電量表示が0になる場合や、PLCエラー(エラーコード:0X8000)を表示する場合があります。全マイクロインバータのデータが取得できた時点でPLCエラーは解消しますので、通信状況が回復するまで(1~5分程度)お待ちください。

2 本体の説明

2.1 ゲートウェイの各部機能と外形寸法

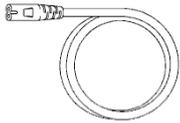
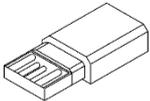
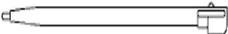
ゲートウェイ本体各部の名称と機能は下図および下表の通りです。



単位: mm

No.	名称	内容
①	タッチスクリーン	ゲートウェイの操作はこのタッチスクリーン上で行います。付属のタッチペンまたは指で操作してください。
②	電源コネクタ	付属の電源用コードを接続します。
③	壁掛け用ビス取付穴	壁に掛けてご使用される際に、ネジの頭を穴に差し込み引っ掛けます。 (推奨木ネジ仕様: 丸頭 木ネジ 呼び径 4.1)
④	LEDランプ	ゲートウェイの電源がON状態で常時、レッド色が点灯します。
⑤	USB端子	付属のWi-Fiアダプタのほか、USBメモリ、マウスを接続することができます。
⑥	LAN端子	LANケーブルを使ってパソコンやインターネットに接続します。
⑦	再起動ボタン	ゲートウェイを再起動するときに使用します。タッチペンの先等を使って押してください。

2.2 ゲートウェイの同梱物

No.	名称	外形	内容
①	電源コード		ゲートウェイと電源コンセントを接続する際に使用します。
②	Wi-Fiアダプタ		ゲートウェイをWi-Fiでインターネットに接続する際に使用します。
③	タッチペン		ゲートウェイの画面を操作する時に使用します。

2.3 ゲートウェイでできること

- ゲートウェイ本体の画面にて、太陽光発電システムの発電量や状態の確認
- 宅内環境でスマートフォン、パソコンを利用した太陽光発電システムの発電量や状態の監視
- 宅外環境でスマートフォン、パソコンを利用した太陽光発電システムの発電量や状態の遠隔監視

ご注意

ゲートウェイはマイクロインバータの出力データを基に発電量を表示し、通信を1分毎に行うことにより、電力会社の電力量計で計量したものとは差が出る場合があります。

2.4 ゲートウェイの仕様

通信インタフェース

マイクロインバータとの通信方式	電力線通信 (PLC) ※使用周波数: 60~120kHz
Ethernet (LAN)	10/100オートセンシング, オートネゴシエーション
USB	USB2.0 interface, オートセンシング, オートネゴシエーション
ポート数	255

操作

ディスプレイ	LCDタッチスクリーン
--------	-------------

電源

電源	AC100-240V, 50/60Hz
消費電力	最大3.5W

外形寸法

外形寸法	幅148mm × 高さ113mm × 奥行き37mm
重量	150g

使用環境

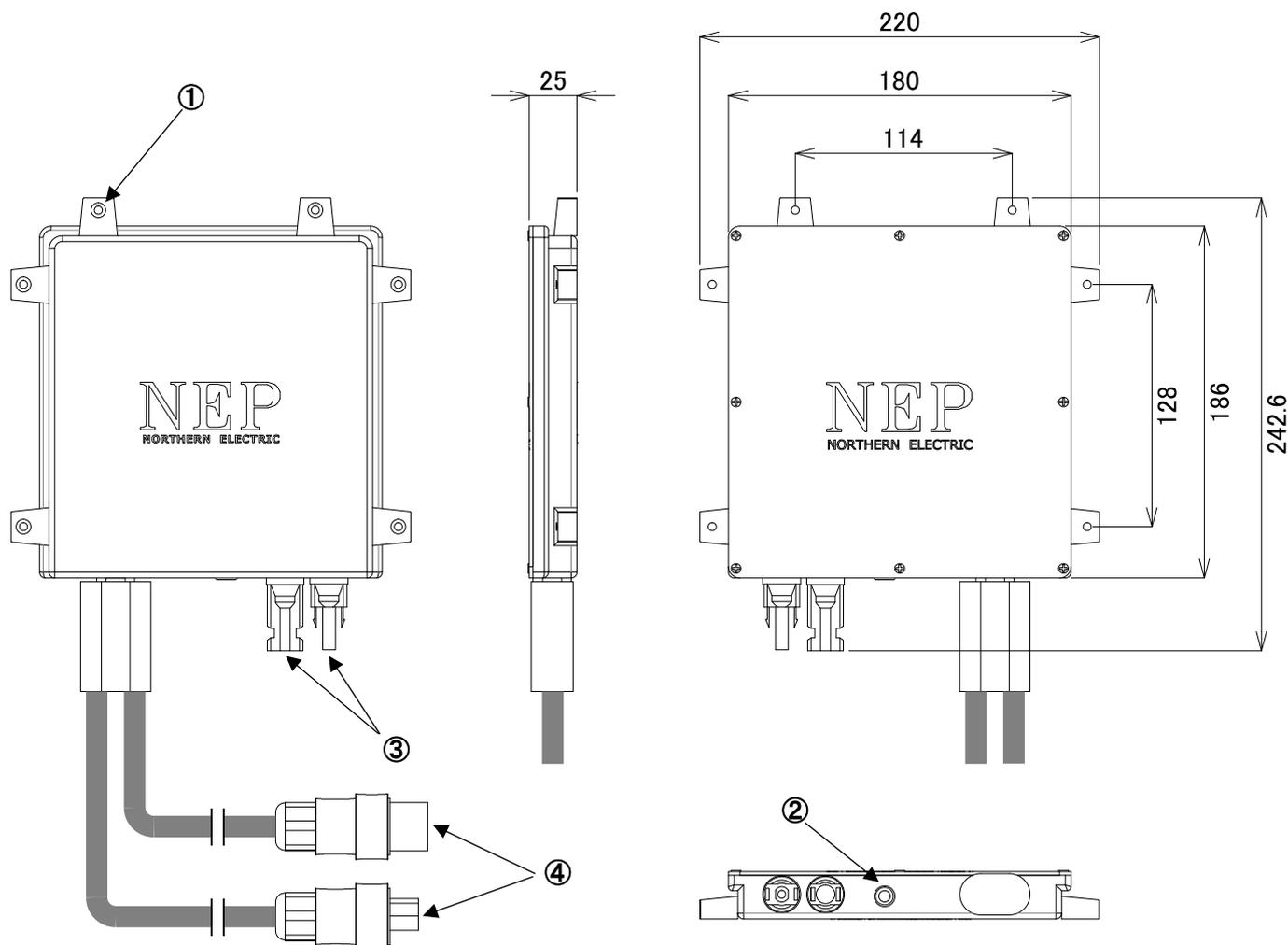
使用場所	室内
周囲温度	-40~+55°C
相対湿度	30~95% (結露しないこと)
保護等級	IP20

その他

冷却方式	自然対流
保証期間	1年

2.5 マイクロインバータの外形寸法および各部機能

★ マイクロインバータはお客様が操作する機器ではありません。当太陽光発電システムを構成する重要な機器のため、内容をご理解頂くための説明となります。



No.	名称	内容
①	取付穴 (筐体アース兼用)	マイクロインバータを太陽電池モジュールのフレームまたは架台等に取り付ける際の穴です。 M5のタッピング処理がされており、筐体アースを兼ねていますので、電導性のビスを使って確実に電氣的に接続してください。
②	LEDランプ	色及び点滅状態によりマイクロインバータの状態を表示します。
③	直流接続コネクタ	MC4型コネクタで太陽電池モジュールからのケーブルを直接接続します。
④	交流接続コネクタ	隣接するマイクロインバータの交流出力どうしを接続します。

2.6 マイクロインバータの性能仕様

項目		標準仕様
直流入力	推奨 PV パネル容量	300W 程度
	最大直流入力電圧	60V 未満
	最大直流入力電流	12A
	最大電力追従制御範囲	22V~55V
	運転開始電圧	24V 以上
交流出力	定格容量	250W
	電気方式	単相 2 線式(単相 3 線式の系統に接続)
	定格出力電圧	210V
	定格出力電流	1.2A
	定格周波数	50Hz または 60Hz
	高調波含有率	総合電流歪率:3%以下 (定格出力電流比)
	力率	99%以上(定格出力時)
システム効率	最大変換効率	95.80%
	夜間消費電力	0.07W 以下
保護機能	連系保護	過電圧(OV) 不足電圧(UV) 周波数上昇(OF) 周波数低下(UF)
	単独運転防止	受動的方式 電圧位相跳躍検出方式 能動的方式 ステップ注入付周波数フィードバック方式
	FRT 要件	対応
	その他	自動電圧上昇抑制機能 不平衡検出機能 過電流保護機能 地絡保護機能
	保護等級	IP67
その他	周囲温度	-40°C~+65°C
	相対湿度	0-95%(結露しないこと)
	標高	2000m 以下
	表示	LED 球
	外部通信方式	電力線通信(PLC)
	外形寸法	縦 186 mm×横 180 mm×厚 25 mm(突起部除く)
	重量	約 1.75 kg

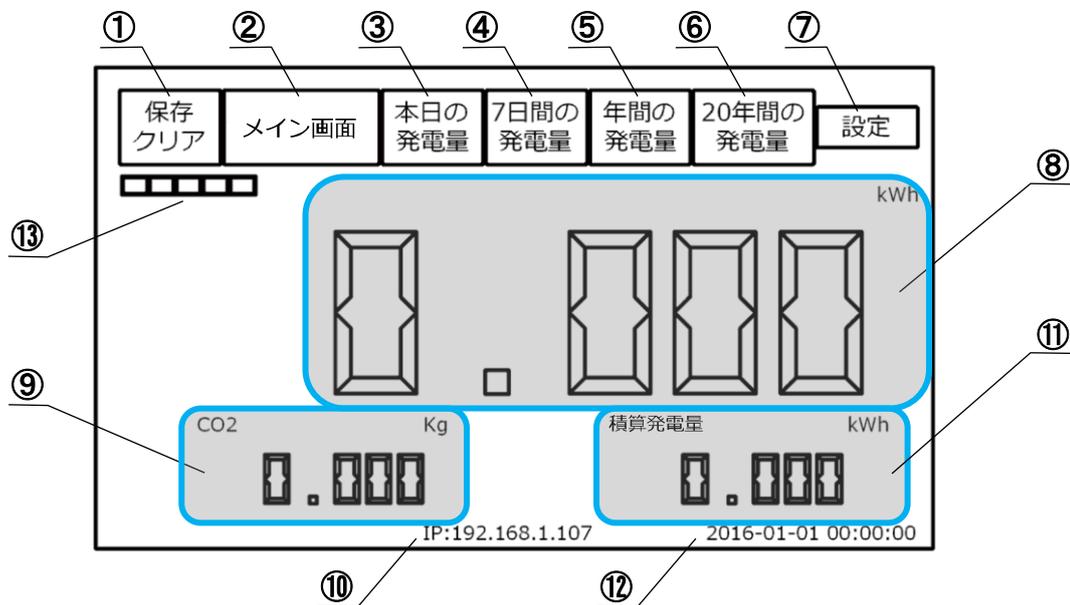
※1 一定力率制御はできません。 ※2 自動電圧上昇抑制は有効電力制御となります。

3 ゲートウェイの操作説明

3.1 メイン画面の表示

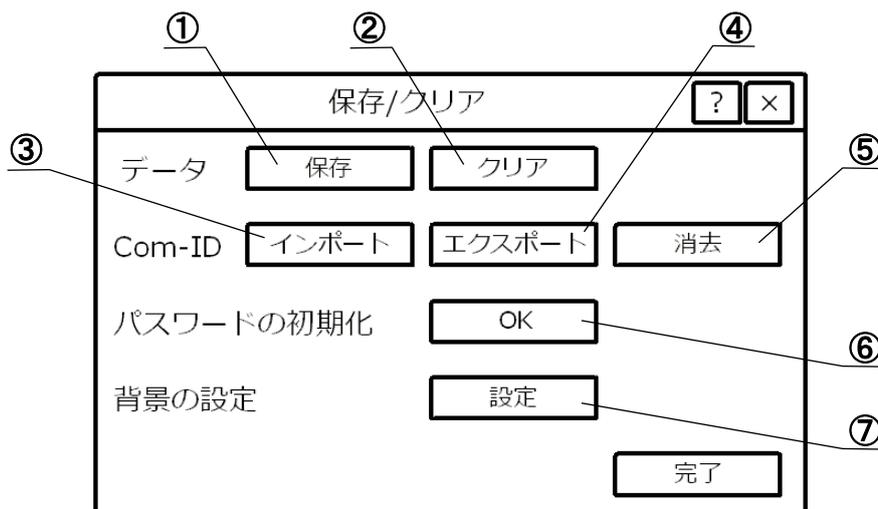
ゲートウェイのメイン画面は下図の通りです。

※他の画面を表示している時には、「メイン画面」をタップすることでメイン画面に戻ります。



①	保存/クリア	本体内部メモリに蓄積された発電量データをUSBメモリに保存または消去する際に使用します。 ※一度消去したデータは復元できませんので、ご注意ください。
②	メイン画面	メイン画面に戻ります。
③	本日の発電量	本日の発電量を折れ線グラフで表示します。
④	7日間の発電量	直近7日間の日毎の発電量を棒グラフで表示します。
⑤	年間の発電量	直近1年間の月毎の発電量を棒グラフで表示します。
⑥	20年間の発電量	20年間の年毎の発電量を棒グラフで表示します。
⑦	設定	各種設定を行います。
⑧	本日の発電量	本日の累積発電量を表示します。
⑨	CO2削減量	発電量から計算したCO2の削減量を表示します。
⑩	IPアドレス	ゲートウェイのIPアドレスを表示します。
⑪	積算発電量	これまでの累積発電量を表示します。
⑫	現在時刻	現在の日付と時刻を表示します。
⑬	電波の強さ	Wi-Fi接続時の受信電波の強さ(5段階)を表示します。

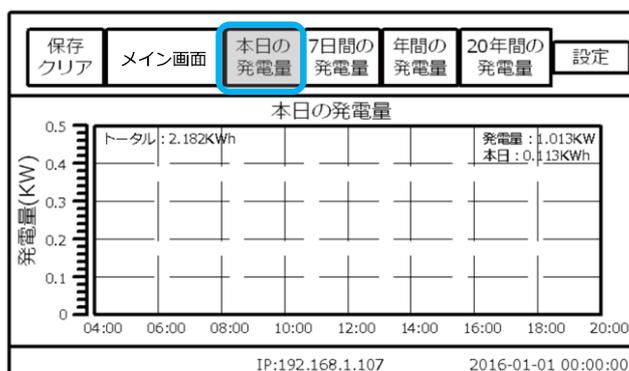
3.2 データの保存と消去



①	データ	保存	ゲートウェイが保持しているデータをUSBメモリに保存します。
②		クリア	ゲートウェイが保持しているデータを消去します。
③	Com-ID	インポート	マイクロインバータのIDをUSBメモリから取得します。
④		エクスポート	マイクロインバータのIDをUSBメモリに出力します。
⑤		消去	ゲートウェイに保存されているマイクロインバータのIDを消去します。
⑥	パスワードの初期化		パスワードを初期化します。
⑦	背景の設定		ゲートウェイの画面背景の設定をします。

3.3 本日の発電量

「本日の発電量」ボタンをタップすると、ゲートウェイに保存された1分ごとの発電量が折れ線グラフで表示されます。



★タッチペン等で画面をタッチしながら動かすと、赤色のボックスで範囲が表示されます。赤色のボックスを動かして拡大したい範囲を選択するとその選択された範囲が拡大表示されます。拡大表示を解除する時は「本日の発電量」をタップします。

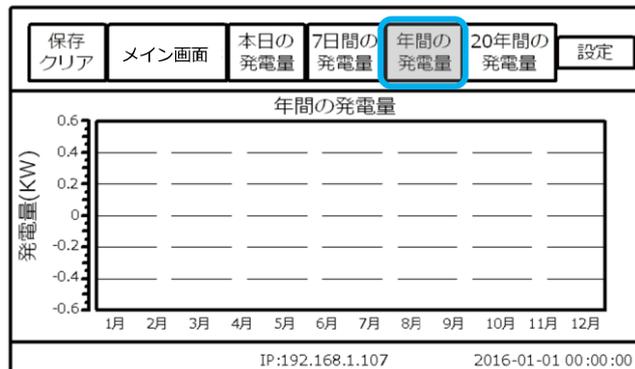
3.4 7日間の発電量

「7日間の発電量」ボタンをタップすると、直近1週間の日毎の発電量が棒グラフで表示されます。



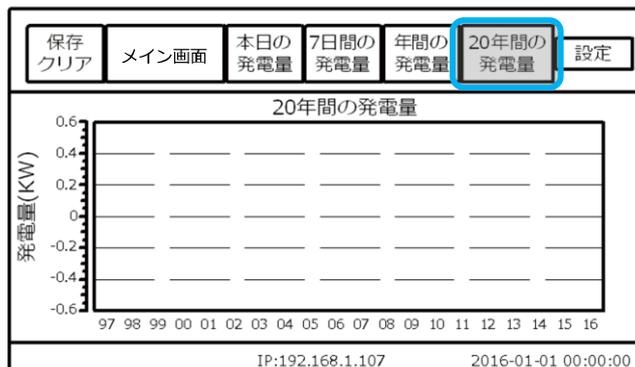
3.5 年間の発電量

「年間の発電量」ボタンをタップすると、直近1年間の月毎の発電量が棒グラフで表示されます。



3.6 20年間の発電量

「20年間の発電量」ボタンをタップすると、20年間の年毎の発電量が棒グラフで表示されます。



3.7 現在日時の設定

ゲートウェイの現在日時の設定を行います。

3.7.1 手動での設定方法

- ① 「設定」ボタン → 「日時設定」タブを開きます。
- ② 「日付」を、年、月、日それぞれ「▲」または「▼」で選択します。
- ③ 「時刻」を、時、分、秒それぞれ「▲」または「▼」で選択します。
- ④ 選択完了後、「OK」をタップします。再起動するかどうかの確認画面が表示されますので、「OK」をタップして再起動します。

3.7.2 インターネットの時刻情報と同期する設定方法

インターネット上の時刻情報を取得し、現在日時の設定を行います。

★インターネットへの接続方法は、「6 インターネット接続の設定」をご覧ください。

ご注意

設定時に現在の時刻情報を取得するのみで、継続的に同期を行うことはできません。時刻にずれが生じた場合は再度行う必要があります。

- ① 「設定」ボタン → 「日時設定」タブを開きます。
- ② ゲートウェイがインターネットに接続された状態で、「インターネット時計と同期」をタップします。
- ③ 「設定の完了は再起動が必要です。今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、「OK」をタップして再起動します。

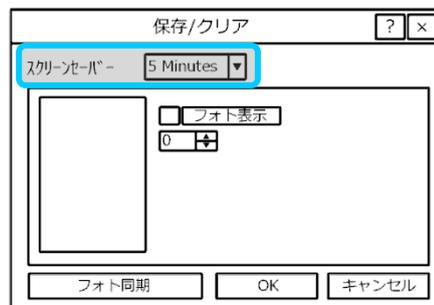


3.8 画面設定・調整

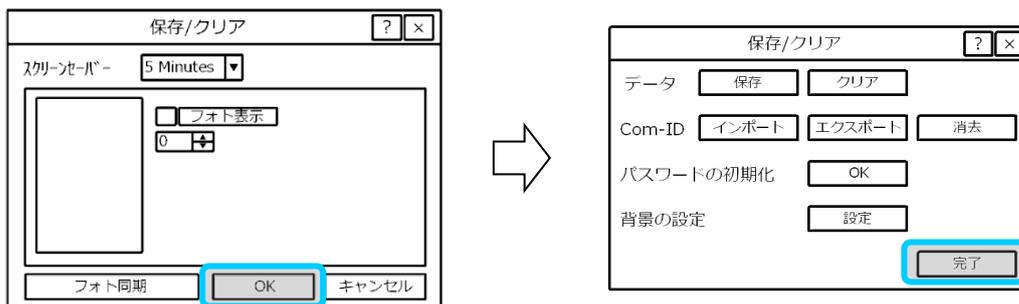
3.8.1 自動消灯時間の設定

ゲートウェイの画面において、一定時間操作が行われない場合、画面が自動で消灯する時間の設定をします。

- ① 「保存／クリア」ボタン → 「背景の設定」の「設定」をタップします。
- ② 「スクリーンセーバー」の設定画面が現れますので、その画面で「▼」をタップして自動消灯になる時間を設定します。



- ③ 「OK」 → 「完了」とタップしてメイン画面に戻ります。



3.8.2 背景画面の設定

ゲートウェイの画面背景に表示される画像の設定を行います。

- ① 背景に設定する画像をPC上で作成します。画像サイズ、ファイル形式、ファイル名、フォルダ名を下記の通りに設定してください。

画像サイズ : 480x272

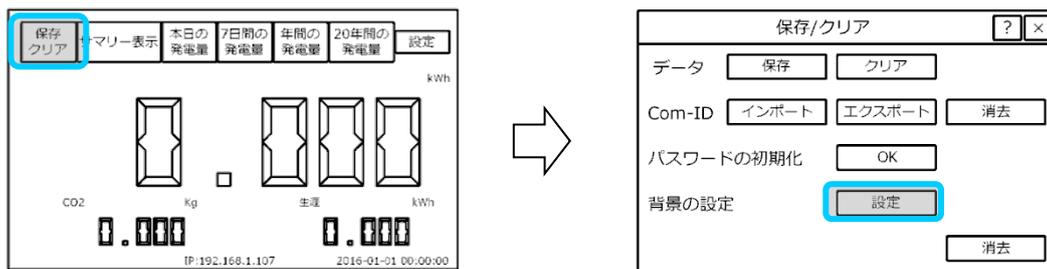
画像形式 : jpg

ファイル名 : 「figure1.jpg」、「figure2.jpg」・・・「figure9.jpg」(全て小文字)

フォルダ名 : 「Photos」

- ② 作成したデータを空のUSBメモリに保存します。

③ USBメモリをゲートウェイ底面にある⑤USB端子に挿入し、「保存/クリア」ボタン → 「背景の設定」の「設定」をタップします。



④ スクリーンセーバーの設定画面が現れます。

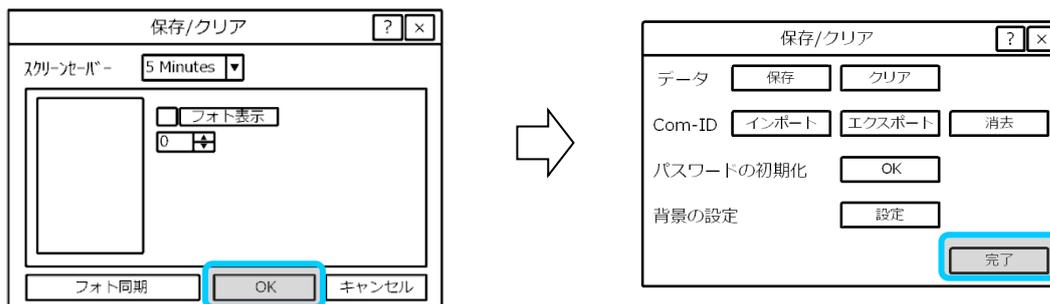
⑤ 「フォト同期」をタップすると、その左に画像のファイル名「figure1～」が表示されますので、表示させたい写真の「フォト表示」にチェックを入れます。

⑥ 次に、表示する(切り替わる)時間を選択します。

★ ⑤ で選択された画像が ⑥ で選択した時間毎に切り替わって表示されます。



⑦ 「OK」→「完了」とタップしてメイン画面に戻ります。



⑧ USBメモリを取り外します。

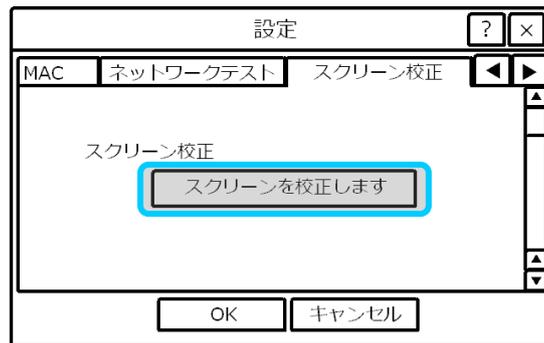
★背景画面を初期画面に戻す場合は、⑤で設定した「フォト表示」のチェックボックスのチェックを外し、「OK」ボタンをタップすると初期画面に戻ります。

3.8.3 ゲートウェイ画面の調整

スクリーン上のカーソル位置の補正を行います。

工場出荷時には調整済みですが、カーソル位置にズレが生じていた場合は、調整してください。

- ① 市販のマウスを本体底面にある⑤USB端子に接続します。
- ② マウスを使用し、「設定」ボタンをクリック → 「スクリーン校正」タブを開きます。
- ③ 「スクリーンを校正します」をクリックします。
- ④ 「設定の完了は再起動が必要です。今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、「OK」をクリックして再起動します。

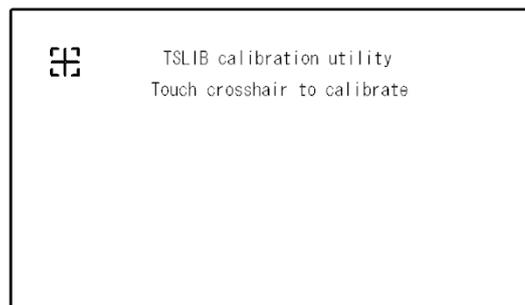


- ⑤ 接続しているマウスを⑤USB端子から外し、付属のタッチペンを用意します。

ご注意

マウスが接続されると、マウスの操作が優先され、タッチペンでタッチしたポイントにカーソルが追従しませんので、必ず外してください。

- ⑥ ゲートウェイが再起動後、以下の調整画面に切り替わります。
付属のタッチペンで、表示された十字のポイントに正確にタッチします。十字のポイントは左上⇒右上⇒右下⇒左下⇒中央の順に5箇所表示されますので、それぞれ正確にタッチしてください。



ご注意

タッチパネルの調整画面でタッチ位置が正確でなかった場合、カーソル位置が大きくズれることがありますので正確なタッチを心掛けてください。

失敗した場合は市販のマウスを本体の⑤USB端子に接続して操作し、再度設定をやり直してください。

3.8.4 ゲートウェイの情報確認

ゲートウェイのバージョン, シリアル番号, MACアドレス情報を確認できます。

- ① 「設定」ボタン → 「バージョン-S/N-MAC」タブを開きます。
- ② 確認が終了したら「OK」をタップして閉じます。



3.8.5 ゲートウェイに蓄積された発電量データの保存

ゲートウェイが保持している発電量に関する各データをUSBメモリに出力します。

- ① USBメモリをゲートウェイの⑤USB端子に挿入し、「保存／クリア」ボタン → 「保存」をタップします。
- ② 「データをバックアップしますか？」と表示されますので、「OK」をタップします。「バックアップ中です」と表示されて、データがUSBメモリに出力されます。
- ③ バックアップが完了すると、表示が消えて元の画面に戻ります。

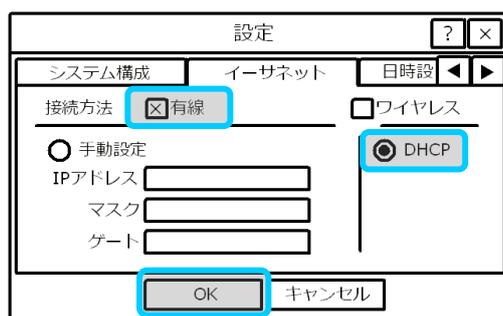
4 インターネット接続の設定

4.1 インターネット接続の設定(有線および無線)

設置されるインターネットの環境に応じて、有線または無線(Wi-Fi)を選択し、インターネットへの接続設定をしてください。

4.1.1 有線での接続方法

- ① 「設定」ボタン → 「イーサネット」タブを開きます。
- ② 接続方法欄の「有線」にチェックが入り、画面が下図に切り替わっていることを確認します。
- ③ 「DHCP」を選択します。
- ④ 設定が完了したら「OK」をタップします。
- ⑤ 「設定の完了は再起動が必要です。今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、「OK」をタップして再起動します。
- ⑥ 再起動後ゲートウェイはメイン画面に戻ります。

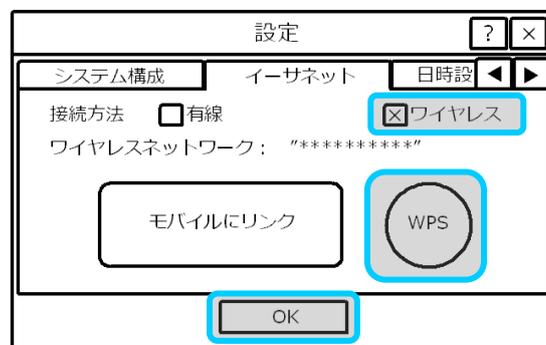


4.1.2 無線Wi-Fiでの接続方法 <WPS で設定可能な場合>

お願い

お持ちの無線ルータのプライバシー設定は必ず「無効」に設定してください。詳しくは無線ルータの取扱説明書をご確認頂くか、メーカー等へお問合せください。

- ① ゲートウェイ本体の底面にある⑤USB端子に、付属品のWi-Fiアダプタを差し込みます。
- ② ゲートウェイ本体の底面にある「⑦再起動ボタン」を押してゲートウェイを再起動します。
- ③ 「設定」ボタン → 「イーサネット」タブを開きます。
- ④ 接続方法欄の「ワイヤレス」にチェックが入り、画面が下図に切り替わっていることを確認します。
- ⑤ 使用する無線ルータのWPSボタンを長押しします。
- ⑥ ゲートウェイ画面上の「WPS」をタップします。「WPS接続中……」と表示され、ゲートウェイは使用可能な無線ルータの検索を開始します。
- ⑦ 無線ルータとの接続を完了すると、「“(ルータのSSID)”WPS接続しました」と表示されます。
- ⑧ 「設定の完了は再起動が必要です。今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、「OK」をタップして再起動します。
- ⑨ 再起動後ゲートウェイはメイン画面に戻ります。



4.1.3 無線Wi-Fiでの接続方法 <手動設定する場合>

手動でSSID等を登録してWi-Fi接続する場合に使用します。

- ① 有線にてPCとゲートウェイをネットワーク接続します。
- ② ゲートウェイ底面の⑤USB端子に、付属品のWi-Fiアダプタを差し込みます。
- ③ ゲートウェイの底面の再起動ボタンを押し、再起動します。再起動後、メイン画面に戻ります。」

④ PCのブラウザ(Google、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer、Firefoxなど)に以下のアドレスを入力し、アクセスしてください。

アドレス
http://[ゲートウェイのIPアドレス]/wifi

ゲートウェイのIPアドレスは、メイン画面の⑩に表示されています。

- ⑤ Wi-Fi設定の画面(Wireless Network Setup)が表示されます。
- ⑥ PASSWORD欄に「gateway」を入力し、「Next」をクリックしてください。

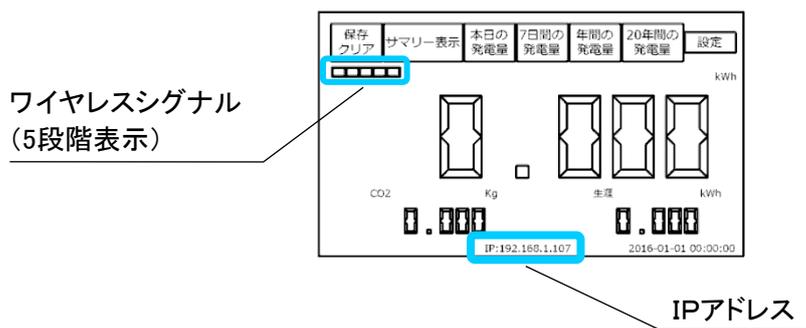
Wireless Network Setup

⑦ Wi-Fi設定画面に移動しますので、各項目について入力します。

SSID	無線ネットワークのSSIDを入力してください。
Security type	ワイヤレスルーターのユーザーマニュアルをご参照の上Security typeを選択してください。
Password	ワイヤレスネットワークのパスワードを入力します。
DHCP	「Yes」を選択した場合、ワイヤレスルーターはゲートウェイに自動的にIPアドレスを割り当てます。 「No」を選択した場合、IP Address欄にIPアドレスを入力してください。
IP Address	ゲートウェイにIPアドレスをマニュアルで設定します。(DHCPで「No」を選択の場合)

- ⑧ 入力が完了したら「SAVE」をクリックします。
- ⑨ ブラウザ(Google、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer、Firefoxなど)を閉じます。
- ⑩ ゲートウェイ底面の⑦再起動ボタンをタッチペンの先等で押し、ゲートウェイを再起動します。

- ① 再起動後ゲートウェイはメイン画面に戻ります。メイン画面上に受信電波の強さを示すワイヤレスシグナル(5段階表示)とIPアドレスが表示されます。



4.1.4 インターネットとの接続状態の確認

ゲートウェイとインターネットの接続状態を確認します。

- ① 「設定」ボタン → 「ネットワークテスト」タブを開きます。
- ② 「実行」ボタンをタップして、テストサーバーとの通信テストを開始します。
- ③ 通信に問題がなければ、通信状態欄に「有効」と表示されます。通信状態欄に「無効」と表示された場合は、p.22 4.1.1 または p.23 4.1.2 または p.23 4.1.3 に戻り、設定をやり直してください。
- ④ 確認が終了したら「OK」をタップして閉じます。



5 宅内での発電量・動作状態確認

設置された太陽光発電システムの発電量・動作状態を、宅内の有線または無線ネットワーク(ローカルネットワーク)を利用して確認することができます。

5.1 パソコン(PC)を使用した発電量・動作状態確認(有線の場合)

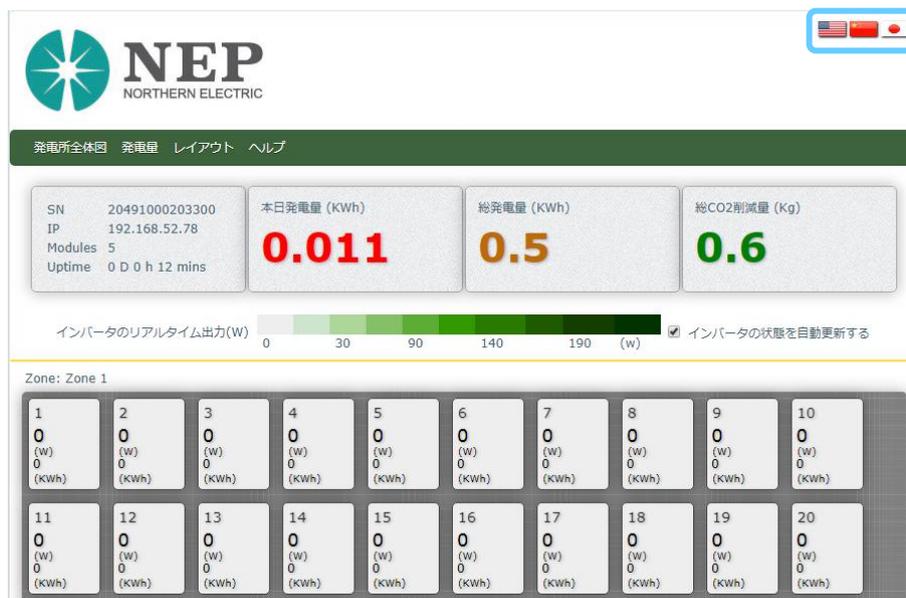
❶ ゲートウェイ底面の⑥LAN端子とお持ちのルータのLAN端子を、LANケーブルを使って接続します。ネットワーク接続方法は p.22 「4.1.1 有線での接続方法」を参照してください。

❷ PCのブラウザに以下のアドレスを入力し、アクセスしてください。

アドレス
http://[ゲートウェイのIPアドレス]/

ゲートウェイのIPアドレスは、メイン画面の⑩に表示されています。

❸ 下図の監視画面が英語で表示されますので、右上の国旗マークで言語を選択してください。



❹ 監視画面の表示内容、操作については、p.35 「6.4 PC版 遠隔監視アプリケーション『NEPViewer』の操作」を参照してください。

❺ 終了するにはブラウザ(Google、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer、Firefoxなど)を閉じます。

5.2 パソコン(PC)を使用した発電量・状態確認(無線Wi-Fiの場合)

- ① ゲートウェイとお持ちの無線(Wi-Fi)ルータを接続して下さい。
無線(Wi-Fi)ネットワーク接続方法は p.23 「 4.1.2 無線Wi-Fiでの接続方法 」を参照してください。
- ② 前項の②以降と同じです。

6 スマートフォン、タブレット等での発電量・動作状態の遠隔監視

6.1 ユーザー登録

スマートフォンやタブレット等の移動端末で、設置された太陽光発電システムの発電量・動作状態を遠隔監視することができます。

この機能を利用するためには、NEP(Northern Electric & Power Co.,Ltd)社のホームページからお客様情報、ご使用の機器情報を入力し、ユーザー登録をしていただく必要があります。

以下の操作はPC、スマートフォン、タブレットいずれも可能ですので、手順に従いユーザー登録を行ってください。

❶ お手持ちの端末のブラウザ(Google、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer、Firefoxなど)で、以下の検索キーワードを入力するか、以下のURLを入力し、NEP(Northern Electric & Power Co.,Ltd)社のホームページを開いてください。

検索キーワード	Northern Electric & Power
---------	---------------------------

または

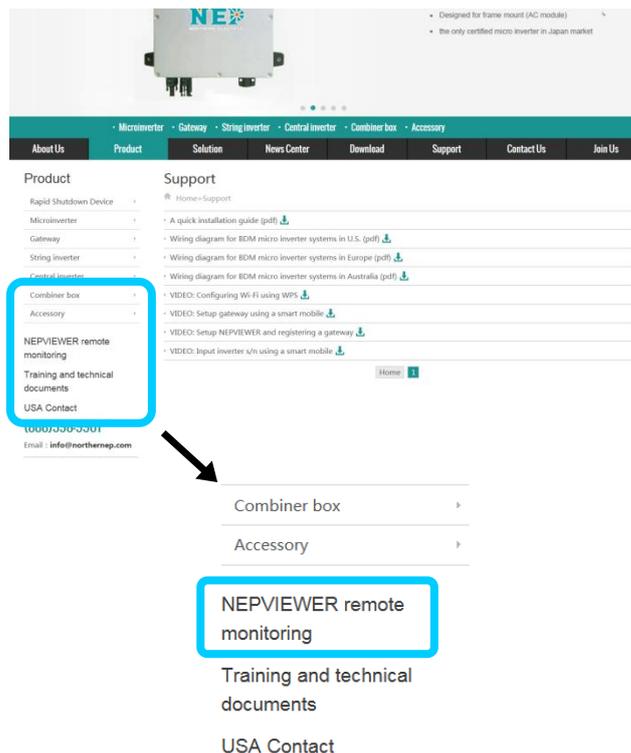
URL	http://www.northernep.com
-----	---------------------------

★ NEP社はアメリカ合衆国のWEBサイトのため、英語表記の画面が現れますが、以降の手順で日本語表記に切り替えていきます。

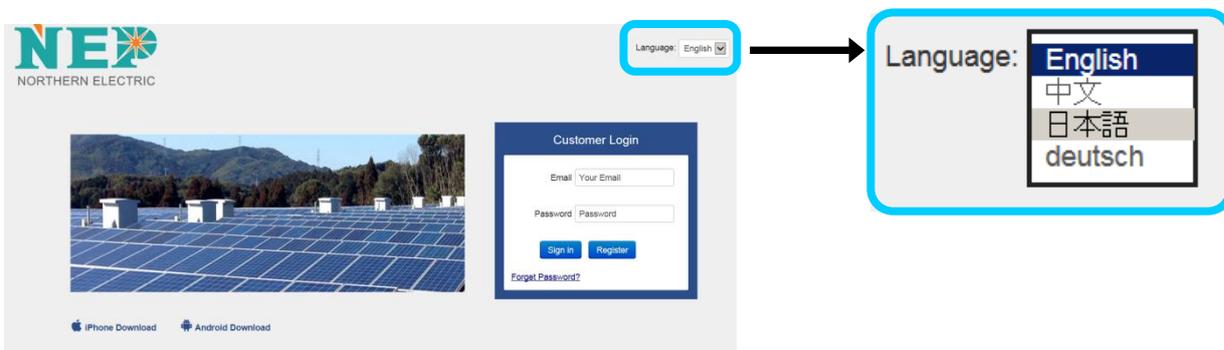
❷ 以下のトップページ画面が表示されますので、[Support]ボタンをクリックします。

The image shows a screenshot of the NEP website. At the top, there is a navigation bar with the following items: Microinverter, Gateway, String inverter, Central inverter, Combiner box, and Accessory. Below this, there is a main content area featuring a product image of a BDM-300 microinverter. To the right of the image, there is text describing the product: "BDM-300", "World's thinnest (25mm in thickness)", "Designed for frame mount (AC module)", and "the only certified micro inverter in Japan market". At the bottom of the page, there is a footer with the following items: About Us, Product, Solution, News Center, Download, Support, Contact Us, and Join Us. The "Support" button is highlighted with a red box. An arrow points from the "Support" button in the footer to the "Support" button in the navigation bar.

③ 以下の画面が表示されますので、画面左下にある[NEPVIEWER remote monitoring]をクリックします。



④ 以下のログイン画面が表示されますので、画面右上の[Language]のプルダウンメニューから “日本語” を選択します。



画面表記が日本語に切り替わります。

⑤ [新規登録]ボタンをクリックしますと、ユーザー情報登録画面に移ります。



⑥ メールアドレスは現在有効なお客様のメールアドレスを入力し、パスワードは任意の英数字(文字数制約はありません)を入力してください。

その他の全項目を入力し、[登録]ボタンをクリックし、登録します。

ご注意

パスワードは銀行口座、クレジットカード、電子マネー、通販サイト等でご使用されているパスワードは使用しないでください。

User Registration

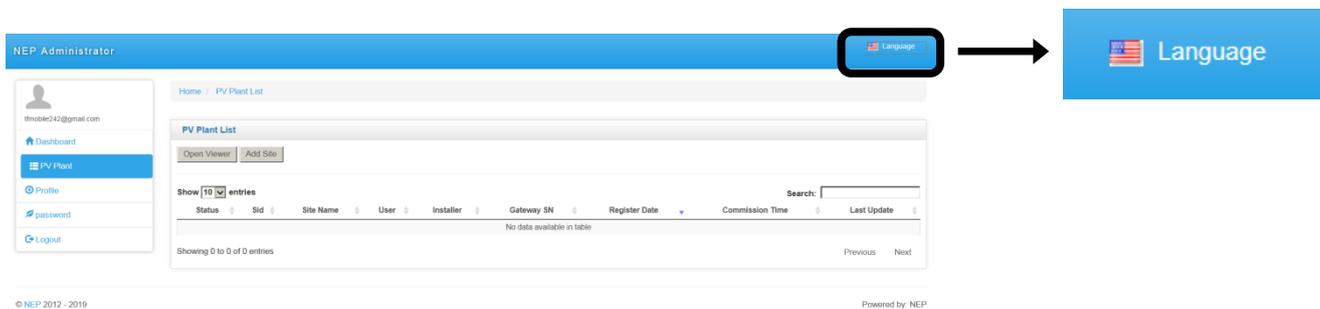
Please fill in the following information.	
メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード(再入力)	<input type="password"/>
住所	<input type="text"/>
市町村	<input type="text"/>
国	<input type="text" value="select"/>
県	<input type="text" value="select"/>
郵便番号	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	

6.2 お客様が所有する太陽光発電システムの情報登録

❶ 登録が終了したら、前項❺のログイン画面に戻り、登録したメールアドレスとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



❷ 以下の太陽光発電システム管理者専用ページが開きます。次に、画面右上の[Language]ボタンをクリックすると、言語選択画面が表示されますので、[日本(日本語)]を選択し、クリックします。



言語選択画面



画面表記が日本語に切り替わります。

❸ 以下画面の[追加]ボタンをクリックし、お客様の太陽光発電システムについて各種情報を入力します。



- ④ 以下の画面が表示されますので、各項目に入力し、[NEXT]ボタンをクリックします。

Step 1 / 3

* 事業者のメールアドレス

* 国
select ▼

* 県
Select ▼

* 市町村

* 住所

* ゲートウェイの製造番号

「事業者のメールアドレス」には前項のユーザー登録で使用したアドレスと同じものを入力してください。

「ゲートウェイの製造番号」は予備の製造番号ラベルまたは本体裏面のラベルに記載されています。

- ⑤ 以下の画面が表示されますので、各項目に入力し、[NEXT]ボタンをクリックします。

Step 2 / 3

* 発電所名

* 緯度(00.000000)
N ▼

* 経度(00.000000)
E ▼

* 日時基準
 ▼

「発電所名」には、自由に名称を記載してください。

入力されなくても、お客様の住所情報から自動設定されますが、Googleマップ等で設置場所の緯度経度を調べて入力すると、より正確な位置に設定することができます。

プルダウンメニューから、“(GMT+09:00) Asia, Japan”を選択してください。

⑥ 以下の画面が表示されますが、入力必須項目ではありませんので、無入力のまま[登録]ボタンを押しても登録が可能です。

Step 3 / 3

温度(摂氏/華氏)
華氏(°F)

発電所容量(kW)
0

通貨単位
ATS /1 kWh

太陽光モジュール型番・種類

地目

発電所の画像
Select image

Previous 登録

⑦ 登録が完了すると、発電所一覧に登録した太陽光発電システムが表示されます。

発電所一覧

ビューアーへ 追加

表示件数 10 件

状態	システムID	発電所名	ユーザー	事業者名	ゲートウェイ製造番号	追加日
🔄	JP_20190805_DFzF	エクソル京都	██████████	██████████	██████████	2019-08-05 15:14:01
🚩	JP_20190702_AdAR	東京本社	██████████	██████████	██████████	2019-07-02 14:21:09

1エントリーの2から2までを表示

6.3 太陽光発電システム管理者専用ページの操作

★ 設置された太陽光発電システムを宅内または遠隔で監視することにより、お客様自身が太陽光発電システム管理者となりますので、適宜、発電状況、動作状況の確認を行って下さい。



①	ユーザー表示アイコン	任意の写真・イラストなどをアップロードして表示することができます。適応データ形式、サイズは画面に表示されます。
②	ダッシュボード	NEP社が発信する情報掲示板です。
③	発電所一覧	登録した発電所を一覧で表示します。「NEPViewer」にはこの画面から入ります。
④	プロフィール	プロフィールを入力します。
⑤	パスワード	ユーザー登録した際にパスワードを変更する際に使用します。
⑥	ログアウト	本ページからログアウトします。
⑦	ビューアーへ	⑩で発電所を選択し、このボタンをクリックすると、「NEPViewer」へ入ります。
⑧	追加	発電所を追加する際に使用します。
⑨	編集	発電所の情報を変更する際に使用します。
⑩	発電所一覧	登録されている発電所を一覧で表示します。

6.4 PC版 遠隔監視アプリケーション『 NEPViewer 』の操作

前項の太陽光発電システム管理者専用ページで、発電所一覧から発電所を選択し、[ビューアーへ]ボタンをクリックすると、以下のPC版『 NEPViewer 』の画面が開きます。



上記①～⑥タブメニューで下表の機能を選択することができます。

①	発電所全体図	現在の発電力、本日の発電量、積算発電量、累積CO2削減量の表示に加え、環境貢献度を電球の点灯時間、石油消費量などに換算して表示します。 設置されている個々のマイクロインバータの現在の発電力、本日の発電量、ステータスコードを表示します。
②	発電量	本日、7日間、月間、年間における発電量グラフを表示します。
③	天気&地図	太陽光発電システムの設置場所の気象情報とGoogleマップを表示します。
④	レポート	太陽光発電システムの発電量などのレポートを指定のメールアドレスに送信する際の設定画面です。
⑤	アラート	太陽光発電システムに何らかの異常があり、アラート(警報)がゲートウェイから発信された際に、この画面にステータスコードが表示されます。
⑥	レイアウト	中規模以上の太陽光発電システムで、太陽電池モジュールの枚数が多く、設置面積が広い場合や設置場所も離れている場合など、ゾーン分けして太陽光発電システムを管理・監視したいとき使用します。

6.4.1 ①「発電所全体図」の表示説明



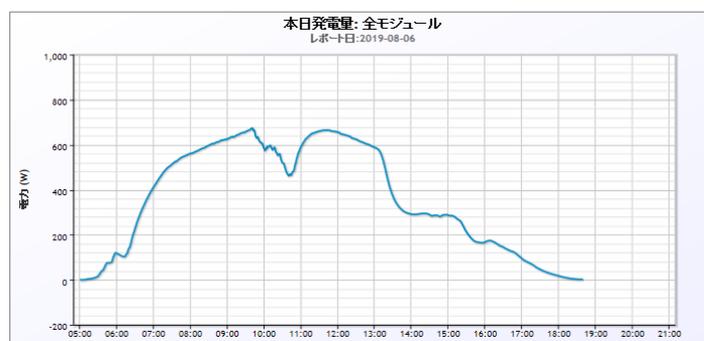
①-1	<ul style="list-style-type: none"> ゲートウェイのシリアル番号、モジュール枚数、ステータスコードなどを表示します。 現在の発電力、本日の発電量、積算発電量、累積CO2削減量の表示に加え、環境貢献度を電球の点灯時間、石油消費量などに換算して表示します。
①-2	マイクロインバータの出力値が、色分けされたグラフの数値範囲に合致しているときに、その台数を表示します。
①-3	設置されている個々のマイクロインバータの現在の発電力、本日の発電量、ステータスコードを表示します。

6.4.2 ② 「発電量」の表示説明



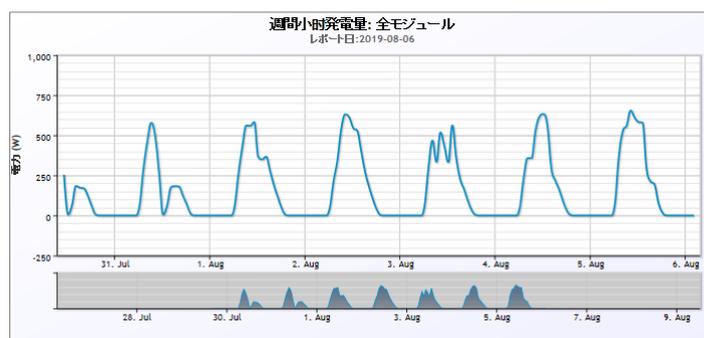
②-1 [本日]

本日における1分ごとの発電量が折れ線グラフで表示されます。



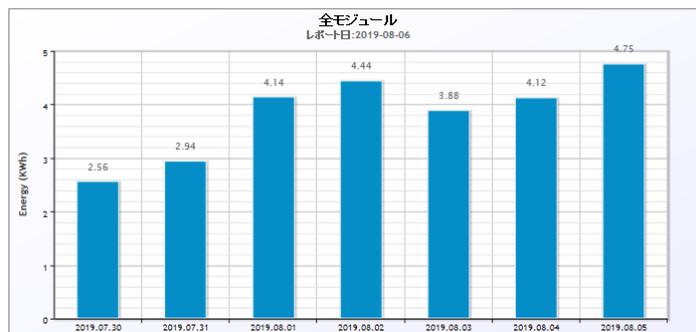
②-2 [1週間(時間毎)]

直近1週間における1時間ごと発電量が折れ線グラフで表示されます。



②-3 [1週間(日単位)]

直近1週間の日毎の発電量が棒グラフで表示されます。



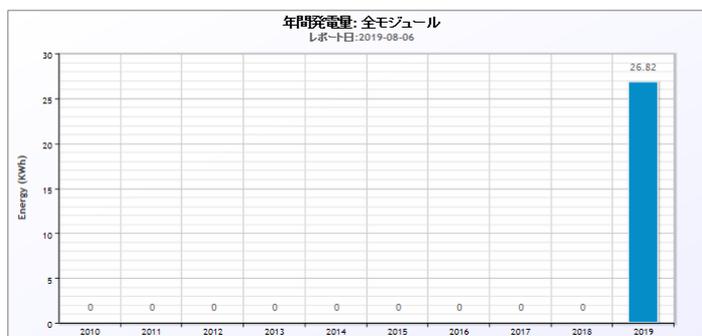
②-4 [月間]

直近1年間の月毎の発電量が棒グラフで表示されます。



②-5 [年間]

直近10年間の1年毎の発電量が棒グラフで表示されます。



②-6 [レポート]

累積CO2削減量の表示に加え、環境貢献度を電球の点灯時間、石油消費量などに換算して表示します。

CO2削減の相当量:			
	2804		106.524
コルクガシの本(単位:本)		車の走行距離(単位:マイル、平均290g/1マイル換算)	
エネルギーの相当量:			
	529.700		54.071
60ワット電球(単位:時間)		石油(bbl)	

②-7 [履歴]

指定した日にち(開始日)～日にち(終了日)における1分ごとの発電力、発電量の蓄積データを表示することができます。

開始日:	<input type="text"/>	終了日:	<input type="text"/>	秒ごとの: [ALL]	イカダ: [ALL]	表示	スクリーンショット	クリア
日時	発電量 (W)	本日発電量 (kWh)						

6.4.3 ③ 「天気 & 地図」の表示説明

太陽光発電システムの設置場所の気象情報とGoogleマップを表示します。

Back To Mysite

風 7 m/s
湿度 86%
露点 25
紫外線指数 0
気圧 1011 hPa

発電所情報

発電所名 東京本社:
発電所容量 0kW
東京本社 〒105-0012 東京都港区芝大門2-4-8 JDBビル 8階
地目

6.4.4 ④ 「レポート」の設定画面

太陽光発電システムの発電量などのレポートを指定のメールアドレスに送信する際の設定画面です。

設定:	
毎日	<input type="checkbox"/>
毎週	<input type="checkbox"/>
毎月	<input type="checkbox"/>
アラート:	
毎時	<input type="checkbox"/>
毎日	<input type="checkbox"/>
時間	開始: [8:00] 終了: [17:00]
	<input type="button" value="保存"/>
配信先アドレス	<input type="text" value="fukushima@xsol.jp"/>
件名	<input type="text"/>
本文	<input type="text"/> <input type="button" value="テストメールを送る"/>

6.4.5 ⑤ 「アラート」の表示説明

太陽光発電システムに何らかの異常があり、アラート(警報)がゲートウェイから発信された際に、この画面にステータスコードが表示されます。

マイクロインバータ警報:
時間: 2019-08-06 19:42:19

時間:	エラーコード	説明
1 - 0x10002EF1		
2019-08-06 14:34	0x8000	
2 - 0x10002EF2		
2019-08-06 14:34	0x8000	
3 - 0x10002EF3		
2019-08-06 14:34	0x8000	

Summary

Status code	Error	Explanation
0x0001	DC over voltage	check if the module is suitable for the microinverter
0x0002	DC under voltage	may happen at morning, night, or rainy or cloudy day.
0x0004	Instant protection	If it stays in this condition for more than 1 hour, call customer service

6.4.6 ⑥ 「レイアウト」の設定画面

中規模以上の太陽光発電システムで、太陽電池モジュールの枚数が多く、設置面積が広い場合や設置場所も離れている場合など、ゾーン分けして太陽光発電システムを管理・監視したいとき使用します。

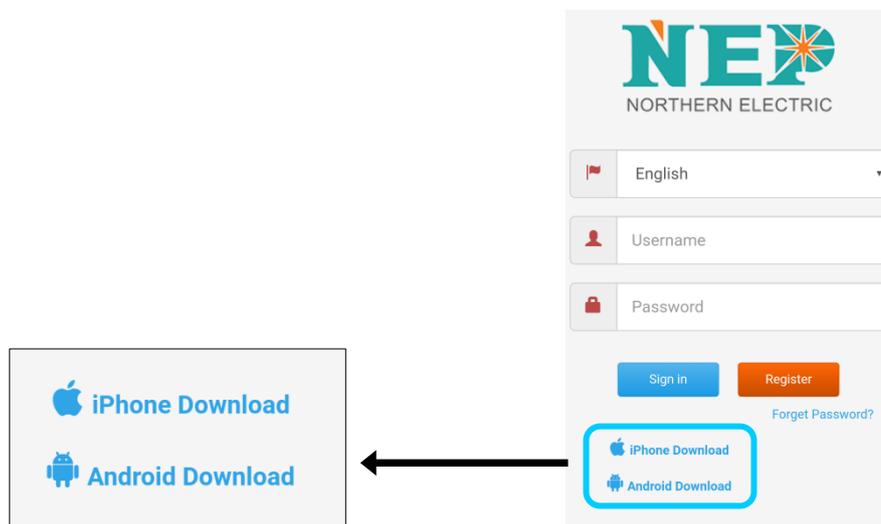
ゾーン編集

ゾーン名:

1. ゾーン編集 レイアウト編集 削除
2. ゾーン編集 レイアウト編集 削除

6.5 スマートフォン、タブレット版遠隔監視アプリケーション『 NEPViewer 』のインストール

❶ お持ちのスマートフォンから、前6.1項の説明の手順と同じ要領で NEP社のホームページを開き、[NEPVIEWER remote monitoring] をクリックすると、以下のログイン画面を開きますので、お手持ちのスマートフォンのOSに対応したインストーラーリンク [iPhone Download] または [Android Download] をタッチすると、インストーラー画面に移ります。



❷ 以下の[インストール]ボタンを押して、インストールしてください。

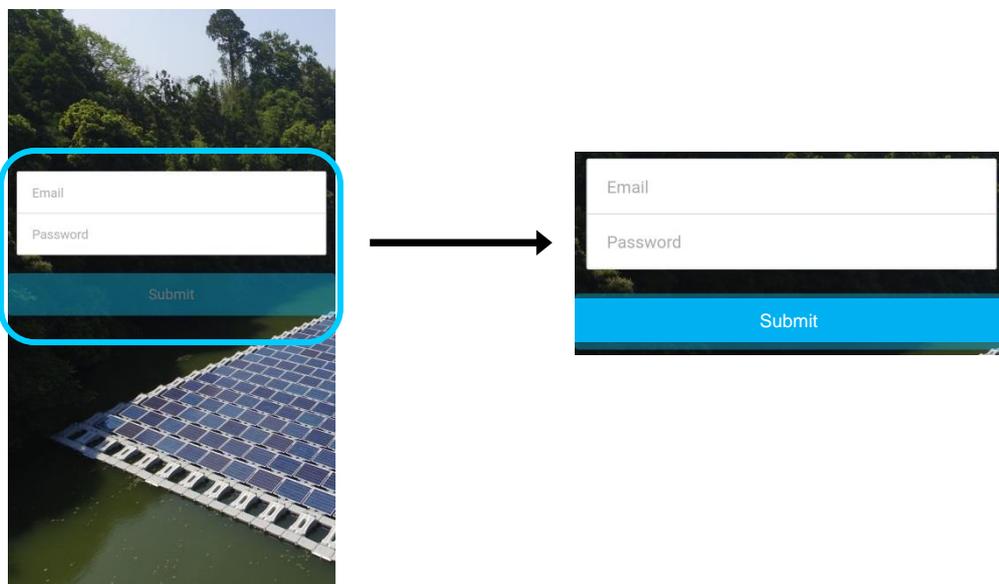


❸ インストールが終了すると、画面上にアプリケーション起動するアイコンが表示されます。

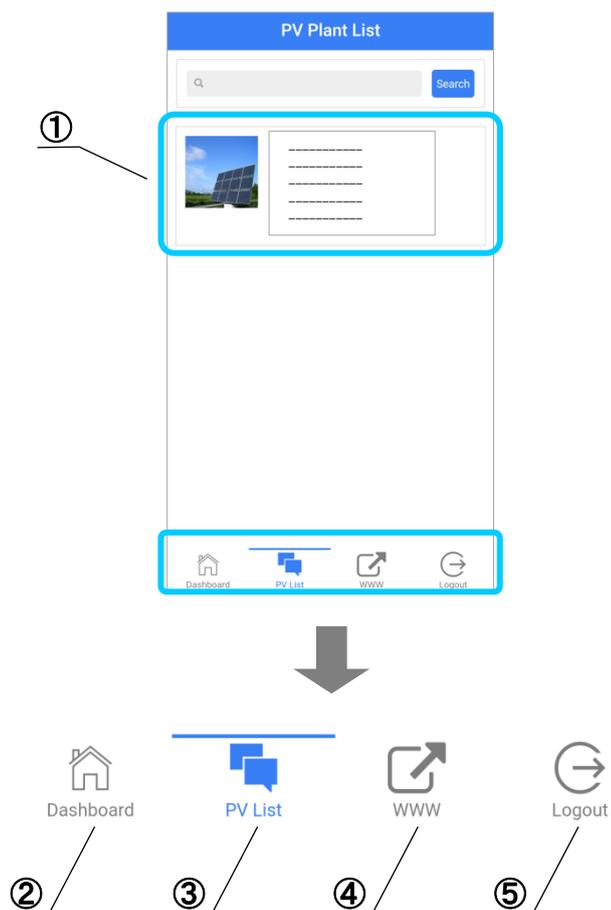


6.6 スマートフォン、タブレット版『 NEPViewer 』の操作

❶ インストールした「 NEPViewer 」を起動しますと、以下の画面が表示されますので、前6.1項でユーザー登録したメールアドレスとパスワードを入力し、[Submit]ボタンをタッチしてください。NEPViewerのお客様専用ページにログインします。

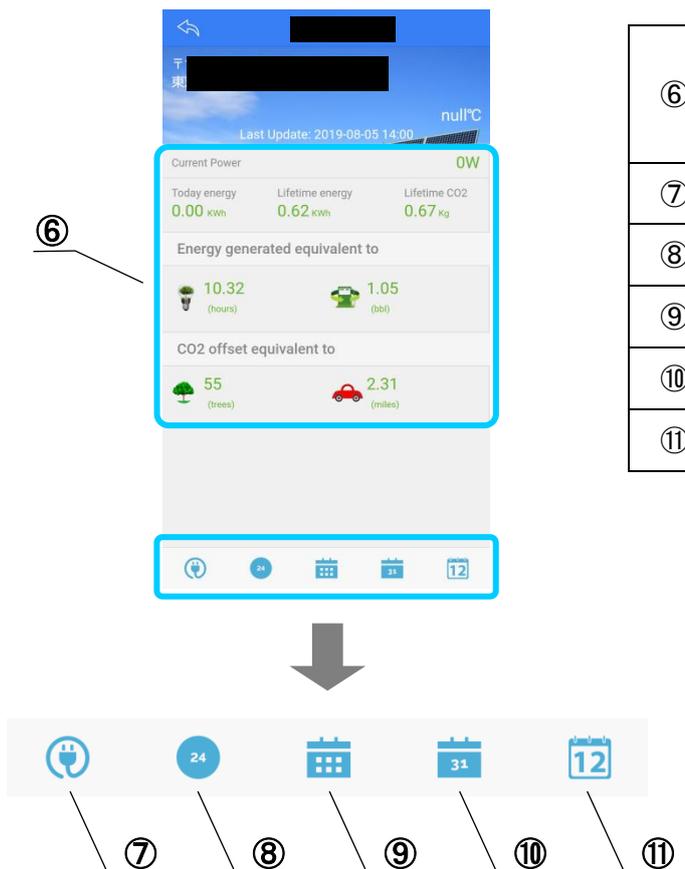


❷ 以下の画面が表示されます。



❶	登録したお客様の太陽光発電システムのリストと情報を表示します。ここをタッチすると発電量表示画面に移ります。
❷	NEP社からの情報を掲載する画面に移ります。
❸	登録された太陽光発電システムを一覧表示します。
❹	PC版のNEPViewerに移動します。
❺	ログアウトします。

③ 登録したお客様の太陽光発電システムの情報表示部(①)をタッチすると、以下の発電量表示画面に移ります。



⑥	現在の発電力、本日の発電量、積算発電量、累積CO2削減量の表示に加え、環境貢献度を電球の点灯時間、石油消費量などに換算して表示します。
⑦	発電量表示のトップ画面です。
⑧	本日の発電量を表示します。
⑨	7日間の発電量を表示します。
⑩	1ヶ月の発電量を表示します。
⑪	1年間の発電量を表示します。

7 トラブルシューティング

7.1 トラブルシューティング

症 状	対応方法	参考
発電量が0になっている	ステータスコードを確認してください。	p.45,46
	PLC通信が出来ない、あるいは不安定な可能性があります。しばらく時間を置いて再度確認するか、「1.2 PLC通信について」に記載の手順を確認してください。	p.8
監視システムで発電量が見られない	ゲートウェイのPLC通信が出来ない、あるいは不安定な可能性があります。しばらく時間を置いて再度確認するか、「1.2 PLC通信について」に記載の手順を確認してください。	p.8
	ゲートウェイのインターネット接続に問題がある可能性があります。ネットワークの状態を確認してください。	p.22～25
	ゲートウェイ底面⑦再起動ボタンを押して、ゲートウェイを再起動してください。	p.9
タッチパネルを押しても反応しない	ゲートウェイ底面⑦再起動ボタンを押して、ゲートウェイを再起動してください。	p.9
カーソルがタッチ位置から外れている	「設定」から「スクリーン校正」を行ってください。タッチ操作で設定ボタンが押せない場合は、ゲートウェイ底面⑤USB端子にマウスを接続して操作してください。	p.20
ゲートウェイの電源が入らない	電源コードの接続を確認してください。	p.9
	ゲートウェイ底面⑦再起動ボタンを押して、ゲートウェイを再起動してください。	p.9
実際の発電量とゲートウェイ上の表示値が異なる	ゲートウェイはマイクロインバータの出力データを取得して発電量データを計算しています。そのため、測定誤差や通信時間により、実際の発電量とは誤差が発生します。	p.8、10
データの更新頻度が遅い	ゲートウェイ～マイクロインバータ間は1台毎にPLC通信を行っています。そのため台数が増える程通信完了までの時間が長く掛かります。	p.8
	ゲートウェイのPLC通信が出来ない、あるいは不安定な可能性があります。しばらく時間を置いて再度確認するか、「1.2 PLC通信について」に記載の手順を確認してください。	p.8
ゲートウェイのケース温度が熱い	ゲートウェイは常時データを処理しているため、使用中は表面温度が上昇しますが問題ありません。	—
ゲートウェイのLEDランプが点灯している	ゲートウェイのLEDランプ(赤)は常時点灯します。異常ではありません。	p.9
ゲートウェイの反応速度が遅い	ゲートウェイにはコンピュータが内蔵されており、常時マイクロインバータとの通信機能を使用しているため、文字入力時などの処理を行う際は、動作が遅くなる場合があります。	—

7.2 ステータスコード一覧(参考)

ステータスコードは PC版 遠隔監視アプリケーション『 NEPViewer 』の以下のヶ所に表示されます。



コード	状態	内容
0x0001	DC電圧上昇	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽電池モジュール側の電圧が使用可能範囲より高い場合に表示されます。 ・モジュール電圧がマイクロインバータの使用可能範囲内か、仕様を確認してください。
0x0002	DC電圧低下	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕や夜間、雨天時など、モジュールの発電が弱い時に発生します。 ・モジュール電圧がマイクロインバータの使用可能範囲内か、仕様を確認してください。
0x0010	周波数上昇	<ul style="list-style-type: none"> ・電力システムが不安定な場合に発生します。周波数が正常な範囲に戻れば回復します。 ・朝夕や夜間、雨天時など、モジュールの発電が弱く、マイクロインバータが停止した際に発生します。電圧が動作可能な範囲に戻れば運転を再開します。
0x0020	周波数低下	<ul style="list-style-type: none"> ・電力システムが不安定か、あるいはシステムと切断されている場合に発生します。周波数が正常な範囲に戻れば回復します。
0x8000	PLC通信異常	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロインバータが停止している夜間や、雨天時など、モジュールの発電が弱い時に発生します。モジュール出力が上がれば回復します。 ・AC側の配線が途切れている可能性があります。マイクロインバータの交流出力側ACケーブル、延長用ACケーブルのコネクタ接続を確認してください。 ・マイクロインバータが起動していない可能性があります。DC側のコネクタ接続を確認し、またDC電圧がマイクロインバータの動作可能電圧に達していることを確認してください。(DC側のコネクタの接続を外す際は、事前に太陽光発電用ブレーカを切断し、交流側と切断してください。) ・何らかの電氣的ノイズ(モーター、パソコンなど)によって通信が阻害されている可能性があります。ゲートウェイを差し込むコンセントの位置を変えるか、ノイズ源と見られる機器を停止させてください。

●以下のステータスコードを表示している場合、販売店または電力会社にお問合せ頂くことが発生します。

コード	状態	内容
0x0004	機器故障異常	・1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x0008	インバータ 電圧上昇	・1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x0040	AC電圧上昇 (実効値)	・電力系統が不安定な場合に発生します。電圧値が正常な範囲に戻れば回復します。 1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x0080	AC電圧低下 (実効値)	・系統電圧が不安定か、あるいは系統と切断されている場合に発生します。電圧値が正常な範囲に戻れば回復します。 1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x0100	AC電圧上昇 (最大値)	・系統電圧が不安定な場合に発生します。電圧値が正常な範囲に戻れば回復します。 ・系統電圧が高く、過電圧検出(OVR)が働いている可能性があります。 連系されている電力会社にご相談ください。
0x0200	AC電流上昇 (実効値)	・電力系統が不安定か、あるいは系統と切断されている場合に発生します。電流値が正常な範囲に戻れば回復します。 1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x0400	AC電流上昇	・電力系統が不安定な場合に発生します。電流値が正常な範囲に戻れば回復します。 1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x0800	温度上昇	・温度が下がれば回復します。 1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x1000	ADC異常 ※1	・1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x2000	GFDI異常 ※2	・1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。
0x4000	保護継電器異常	・1時間以上続く場合には販売店に連絡してください。

※1 ADC: Analog Digital Converter (AD変換器)

※2 GFDI: Ground Fault Detection Interrupter (地絡検知遮断器)

【ステータスコードの表示について】

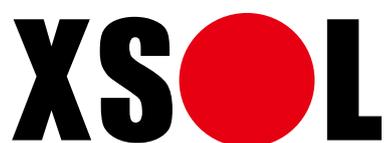
ステータスコードは16ビットの数字あるいはアルファベットによって表示されます。
異なる複数のステータスコードが発生された場合は、それらのコードを合算した16進数で表示されます。

発生したコード	合計(10進数)	合計(16進数:ステータスコード上の表記)
1+2	3	3
1+4	5	5
1+8	9	9
2+4	6	6
2+8	10	a
4+8	12	c

(例)

ステータスコード0030 ... ステータスコード0010 + ステータスコード0020
ステータスコード8010 ... ステータスコード0010 + ステータスコード8000
ステータスコード00a0 ... ステータスコード0020 + ステータスコード0080
ステータスコード0c00 ... ステータスコード0400 + ステータスコード0800

販売元



株式会社エクソル

株式会社エクソル

京都本社／〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659 烏丸中央ビル

東京本社／〒105-0012 東京都港区芝大門2-4-8 JDBビル

【お問合せ】

フリーダイヤル 0120-33-1139

受付時間 9:00～18:00(土日祝日を除く)

2019年8月22日発行(第1版) KG-M-043